

市会調査報告

タック通信 Vol.19



公明党横浜市議員団政務調査会  
旭代表 横浜市議員

和田 卓生

決定!

踏切渋滞解消のため、  
『鶴ヶ峰駅周辺の連続立体交差化』

現在、天王町駅・星川駅間  
で、開かずの踏切解消のため連  
続立体交差化工事が行われて  
います。平成28年度中に下り  
線を高架化し、平成30年度に  
は全線高架化が完成する予定  
です。

その後の横浜市内での連続  
立体交差化の工事個所につい  
て、横浜市は著しく踏切渋滞を

起こしている市内5地区を調  
査してきました。  
その結果、次期の鉄道の連続  
立体交差化を「鶴ヶ峰駅周辺  
(西谷駅から二俣川駅間)」で  
進めることになりました。

長年、私は、鶴ヶ峰2号踏切

などの鶴ヶ峰駅周辺の激しい  
踏切渋滞を解消するために、  
地域の熱望として横浜市議会

連続立体交差化の  
工事個所については、  
踏切除却による交通  
渋滞の解消や交通事  
故減少効果だけにな  
く、周辺道路整備や  
街づくりなど複数の



工事整備区間図

において、繰り返し連続立体  
交差化を市当局に要請してき  
ました。  
また、上田勇衆議院議員と  
ともに歴代の国土交通大臣に  
も鶴ヶ峰駅周辺の連続立体交  
差化への支援を直接お願いして  
きました。  
今後、平成28年度から2年  
間をかけて、高架化や地下化な  
どの鉄道の立体化手法や周辺  
道路整備について横浜市道路  
局において調査、測量、設計な  
どを行っていく予定です。

相鉄では平成30年度には  
JR線との直通化、平成31年  
春には東横線との直通化が実  
現し、ますます運行本数が増  
加することが予想され、鶴ヶ峰  
2号踏切での交通遮断時間の  
増大が懸念されてい  
ました。  
今回の決定は、私た  
ちの長年の主張を横  
浜市としてご理解い  
ただけたものと思っ  
ています。

効果が同時に実現できること  
を重視して選定されました。  
「鶴ヶ峰駅周辺(西谷駅から二  
俣川駅間)」は、踏切除却数・  
自動車交通遮断量・周辺の都  
市計画道路・街づくりの有無  
などで他の4地区よりも高い  
整備効果が見込まれました。